

トビイロシワアリ

平成 30 年 5 月、南信地域の露地栽培ブロッコリーにおいて、地際部から枯れ込む症状が見られ、掘り返したところアリが大量に発生していました。

名古屋植物防疫所に同定を依頼した結果、トビイロシワアリであることが判明しました。

本種は屋久島以北の日本各地に普通に分布しており、これまで本県を含め 17 県で農作物への被害報告があります。

形態

働きアリの体長は 2.5mm 前後。体色は褐色から黒褐色。頭部及び胸部の表面に縦向きの平行したシワがあります（図 1, 2）。



図1 トビイロシワアリ



図2 頭部拡大

発生生態

- (1) 草地など開けた場所に生息し、草の根元や石下などに営巣します。巣の入り口は盛り上がり、クレーター状になります。多数の女王アリが同居する巣もあり、その場合は大規模なコロニーを形成します。
- (2) 雑食性で、昆虫や種子、樹液などを食べます。
- (3) 農作物への被害は、主に地際部の表皮を食害することで生育が抑制され、被害が激しい株は枯死します（図 3, 4, 5）。これまでにキャベツ、ブロッコリー、はくさい、ばれいしょ、アスター、なすおよびカンキツで本種による被害が確認されています。



図3 ブロッコリー被害ほ場

写真提供：野菜花き試験場



図4 ブロッコリー地際部の被害

写真提供：野菜花き試験場



図5 健全株(上)と被害株(下)

写真提供：野菜花き試験場

防除対策

- (1) 令和2年11月16日現在、本種に対する農薬登録はありません。
- (2) 深耕やかん水など、物理的・耕種的防除により単の破壊に努めてください。

疑わしい症状を見つけたら、最寄りの農業農村支援センター又は病害虫防除所までご連絡ください。

長野県病害虫防除所 (東北信)TEL026-248-6471

(中南信)TEL0263-53-5642

発行 長野県病害虫防除所 令和2年11月作成